

事業所名

放課後等デイサービス くろっく



支援プログラム

作成日

令和6年

9月

6日

法人（事業所）理念		人と人との繋がりの中で、”楽しいとき・悲しいとき・悔しいとき・淋しいとき・嬉しいとき” どんな時も、そばにいられる居場所であり未来へ、たすきを渡していく		
支援方針		利用者本人の特性の理解を従業員で深め、個々に寄り添った支援を提供できるようにする 保護者家族の進級進学、進路等への相談を受けながら、関係機関と連携を取れるようにする		
営業時間		平日 学校終了後～17:00 休日 9:00～17:00 (5時間超えの延長時間含む)	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・食育活動（クッキング・野菜の栽培と収穫）通じ、友だちと食事を楽しめる様にします ・家庭と連携しながら基本的な生活習慣のリズムを整えられるようにします ・心と身体のバランスが取りにくい時には、一人ひとりの特性に合わせた感情コントロールの練習をします 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大運動・微細運動を取り入れながら、運動機能を向上させていきます ・様々な感覚遊びを取り入れながら感覚の成長を促し、力加減当をコントロール出来るよう支援します ・感覚に特性のある児童への配慮を行います（個別室を利用した環境設定） 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の日付、曜日、天候、スケジュールなどの確認を、個々に合わせたツール（掲示・絵・言葉・文字数字）で認知出来るようにします ・上記の内容を認識し室内屋外、イベント参加など、その日の行動を理解して過ごせるよに促しをしていきます 		
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、帰りの会で発言する機会を設け、「話す」「聞く」の姿勢を身に付けれるようにします ・簡単なあいさつや自分の気持ちを相手に伝えられるコミュニケーション能力を向上出来るように支援します ・必要時のコミュニケーションの取り方で、クライシスプランを活用し、現在の気持ちを伝えられ、支援者も受け止められるようにします 		
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活を営む為に必要な手段的日常生活動作（IADL）の練習を個々に合わせた内容で支援します（電話・買い物・切符購入・洗濯・食器洗い物・調理など） ・日常生活、社会生活を友だち、大人と過ごす中で次第に信頼関係を築きながら協調性を養える様に支援します 		
家族支援	保護者家族の進級進学、進路等への相談を受ける。本人の日々の生活、行動面についての悩みを伺い、助言や支援に活かせる様にしていく。保護者の休息の時間を確保出来るように、受け入れも行う	移行支援	卒業後の進路として法人で就労継続支援B型事業所とグループホームを運営しているのでイベント時に大人と交流、興味を広げる。保護者の選択肢を広げる。（新規事業も拡充予定）	
地域支援・地域連携	散歩を行いながら地域の方との交流を行う（自然とあいさつが出来るように） 地域企業との交流、体験活動 ごみ拾い運動を行い、地域に貢献	職員の質の向上	外部の各研修に参加しスキルアップに繋げる。その後の事業所内での伝達研修を実施。虐待防止・身体拘束適正化委員会を法人内で開催。参加とその後伝達研修の実施	
主な行事等	旬の食材を提供・お花見・夏祭り・社会資源を利用したの外出体験・水族館、科学館へ外出・工場見学・ハロウィン・クリスマス・ひな祭り・「事業所」の記念祭（96くろっくの日）			